

田野畑村立学校における

# 教職員の働き方改革プラン

(2022～2024)

「子供のためであればどんな長時間でもよしとする」という働き方は、  
教師という職の崇高な使命感から生まれるものであるが、  
その中で教師が疲弊していくのであれば、それは子供のためにならないものである」

(H31.1.25 中央教育審議会答申「はじめに」より引用)

令和4年4月

田野畑村教育委員会

# 田野畑村立学校における教職員の働き方改革プラン

プランの期間：令和4年度～令和6年度までの3年間

## I はじめに

田野畑村教育委員会は、令和元年10月に、「田野畑村立学校における教職員の働き方改革プラン」を策定し、約3年間の取組期間において、各学校の取組と両輪で、教職員の負担軽減・健康確保等に取り組んできました。

一定の成果が見られますが、まだ教職員の担っている業務量や長時間勤務の実態から、学校における働き方改革を引き継ぎ推進していくことが、重要な課題であると捉えています。

平成31年1月に国の中央教育審議会の答申を受けて、国及び県教育委員会は前プラン（平成30年度～令和2年度まで）を策定し、答申の具体化に向けて取り組み、さらに県教育委員会は新たに令和3年度から令和5年度までの「岩手県教職員働き方プラン」を策定し、取り組みを一層強化に推進しています。

また、ここ2年間に及ぶ新型コロナウイルス感染症の蔓延を受け、学校においても新しい生活様式を求められるなど、教職員を取り巻く労働環境も変化を余儀なくされています。

こうした現状を踏まえつつ、田野畑村教育委員会では、あらたに令和4年度から令和6年度までの「田野畑村立学校における教職員の働き方改革プラン」を策定し、学校における働き方改革の実現に向けた取り組みを推進することといたしました。

学校の働き方改革は、教職員の時間外在校時間を削減することが終局目標とするものではなく、教職員がワーク・ライフ・バランスを確保しながら、授業やその準備等に集中し、健康で生き生きとやりがいをもって子どもたち一人一人に向き合う時間を少しでも多く確保していくことにあります。

そして、この実現が、田野畑の未来を担う子供たちに、質の高い教育を提供し続けることであり、教職員の働き方改革の終局目的と考えています。

## II プラン策定の趣旨

### 1 プランの目的

- ◇ 本プランにおける具体的な取組の展開を通じ、教職員の長時間勤務を縮減し、多忙感を軽減することにより、教職員がワーク・ライフ・バランスを確保しながら、授業やその準備等に集中し、健康で生き生きとやりがいをもって子どもたち一人一人に向き合う時間を少しでも多く確保できることを目指します。
- ◇ 学校における働き方改革を実現することにより、田野畑村の未来を担う子どもたちに、質の高い教育を提供し続けることにつながっていきます。

### Ⅲ 前プランでの田野畑村教育委員会の取組

前プラン（令和元年度～3年度）では「教職員の負担軽減」と「教職員の健康確保等」の2点を目標に実施してきました。

#### 1 在校時間の把握と意識改革の推進を図る

| 項目                           | 具体的取組                         | 対象  |     | 前プランの取組状況          |       |       | 課題                  |
|------------------------------|-------------------------------|-----|-----|--------------------|-------|-------|---------------------|
|                              |                               | 村教委 | 小・中 | 令和元年度              | 令和2年度 | 令和3年度 |                     |
| (1) タイムレコーダーの導入、勤務実態の把握と意識改革 | ①教職員自らの働き方を振り返る機会の設定          |     | ○   | ・校長面談等を通して機会をもった   | →     | →     | アンケート等客観的なデータ収集     |
|                              | ②労務管理上の適正な記録                  | ○   | ○   | ・平成30年4月導入         | →     | →     | 記録の公表               |
|                              | ③管理職による勤務状況の把握及び働きかけや指導等      |     | ○   | ・校長面談等を通して機会をもった   | →     | →     | 客観的なデータの利活用         |
| (2) 定時退勤時の設定や年次休暇取得の促進       | ①学校毎に月1回以上の定時退勤日を設ける          |     | ○   | ・まだ未定              | →     | →     | 計画的な勤務時間の運用         |
|                              | ②学校毎に最終退勤時刻の設定                |     | ○   | ・まだ未定              | →     | →     | 計画的な勤務計画            |
|                              | ③教職員個々の年次取得率目標値の設定            |     | ○   | ・まだ未定              | →     | →     | チーム学校としての年次の活用      |
|                              | ④7, 8月及び12, 1月を年次取得促進月間として設定  |     | ○   | 夏休み・冬休み期間に取得促進     | →     | →     | 計画的な年次の活用           |
| (3) 学校閉庁日の設定                 | ①夏季休業及び冬季休業期間において土日を含む連続休暇の設定 | ○   | ○   | ・村教委の通知で、学校での設定が可能 | →     | →     | 保護者・地域への情報発信と連絡網の構築 |

#### 2 学校を支える人的体制等の整備を図る

| 項目                 | 具体的取組                     | 対象  |     | 前プランの取組状況     |           |           | 課題              |
|--------------------|---------------------------|-----|-----|---------------|-----------|-----------|-----------------|
|                    |                           | 村教委 | 小・中 | 令和元年度         | 令和2年度     | 令和3年度     |                 |
| (1) 村独自の人的配置の継続と活用 | ①特別支援・ALT・ICT・国際交流の推進員を配置 | ○   |     | ・計10名の人的配置。   | →         | →         | 村の財政難。成果が問われること |
|                    | ②校長の経営方針に沿った人的活用の促進       |     | ○   | ・チーム学校として有効活用 | →         | →         | チーム学校として有効活用    |
| (2) 地域との連携による学校支援  | ①家庭、地域との分担や協働のさらなる推進      |     | ○   | ・具体化できずにいる    | ・コロナ禍で進まず | ・コロナ禍で進まず | 理解を得るための説明・協議   |
|                    | ②コミュニティ・スクールの推進           | ○   | ○   | ・事前学習         | ・規則等の整備   | ・立ち上げを目指す | コロナ禍で暗礁         |
|                    | ③地域学校協働本部事業の推進・充実         | ○   | ○   | ・推進員1名配置。活動中  | →         | →         | ボランティアの拡張       |

### 3 教職員業務の見直しと業務改善の推進を図る

| 項目                | 具体的取組                         | 対象  |     | 前プランの取組状況                        |        |         | 課題                |
|-------------------|-------------------------------|-----|-----|----------------------------------|--------|---------|-------------------|
|                   |                               | 村教委 | 小・中 | 令和元年度                            | 令和2年度  | 令和3年度   |                   |
| (1) 勤務時間外の対応の軽減   | ①電話応答メッセージの設定                 | ○   | ○   | ・まだ未設定<br>小：18:00～朝<br>中：19:00～朝 | ・まだ未設定 | ・まだ未設定  | 学校のニーズに合わせたい      |
| (2) 学校におけるICT化の推進 | ①統合型校務支援ソフトの導入                | ○   | ○   | ・導入済み                            | ・導入済み  | ・導入済み   | 他市町村との連携網         |
|                   | ②指導・学習用のタブレットの導入              |     | ○   | ・基準数導入                           | →      | ・1人1台導入 | 利活用の促進            |
|                   | ③その他、業務支援につながるICT機器に整備・検討     |     | ○   | ・デジタル教科書・オンライン授業等未               | →      | →       | 業務支援になる整備・利活用     |
| (3) 村教育委員会業務等の改善  | ①各種会議や行事、研修等の見直しと精選・厳選        | ○   |     | ・村-事務所<br>- 県の精選・厳選              | →      | →       | 村の協議会等の組織の整理・統合   |
|                   | ②学校との電話連絡等を原則として16:45までとする    | ○   |     | ・原則は守る                           | →      | →       | 相互の共通理解           |
| (4) 各学校における取組の工夫  | ①学校の実情に応じた業務の見直しを行う           |     | ○   | ・学校と地域の実情に応じた業務の見直し              | →      | →       | 財政・人手等の不足         |
| (3) 学校閉庁日の設定      | ①夏季休業及び冬季休業期間において土日を含む連続休暇の設定 | ○   | ○   | ・村教委より通知。学校で有効に設定                | →      | →       | 保護者等との理解促進と連絡網の整備 |

### 4 部活動運営の改善を図る

| 項目                | 具体的取組                            | 対象  |     | 前プランの取組状況               |       |       | 課題               |
|-------------------|----------------------------------|-----|-----|-------------------------|-------|-------|------------------|
|                   |                                  | 村教委 | 小・中 | 令和元年度                   | 令和2年度 | 令和3年度 |                  |
| (1) 適切な運営のための体制整備 | ①中学校での「部活動に係る活動の方針」の策定と公表        | ○   | ○   | ・村教委、中学校の方針策定           | →     | →     | 保護者、指導員との一層の理解促進 |
|                   | ②村独自の部活動指導員の導入。保護者会や指導員の協議・研修会実施 | ○   | ○   | ・10月より村独自予算で導入。6部活全てに配置 | →     | →     | 保護者、指導員との一層の理解促進 |
| (2) 適切な休養日等の設定    | ①中学校部活活動方針の理解・促進                 |     | ○   | ・村教委、中学校の方針策定           | →     | →     | 保護者、指導員との一層の理解促進 |

## 5 ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた環境整備を図る

| 項目                   | 具体的取組                    | 対 象 |     | 前プランの取組状況        |       |       | 課 題             |
|----------------------|--------------------------|-----|-----|------------------|-------|-------|-----------------|
|                      |                          | 村教委 | 小・中 | 令和元年度            | 令和2年度 | 令和3年度 |                 |
| (1) 保護者・地域等への理解促進    | ①小・中学校を通して周知及び理解、協力依頼    | ○   | ○   | ・校報、PTA総会等で理解促進  | →     | →     | 教育効果向上を目指すことを説明 |
| (2) 労働安全衛生管理体制・相談の整備 | ①学校経営方針に「衛生推進者」の校務分掌への明記 |     | ○   | ・校長会議で説明         | →     | →     | 職員会議での協議題とすること  |
|                      | ②校長による面接相談の実施            |     | ○   | ・校長面談等を通して機会をもった | →     | →     | 客観的なデータの利活用     |

## IV 前プランの取組の評価

### 1 目標の達生状況

**目標1** 月当たりの時間外勤務が80時間を超える教職員を「ゼロ」にする。

《結果》

| 時間外在校等時間                   |     | 令和元年度  | 令和2年度  | 令和3年度  |
|----------------------------|-----|--------|--------|--------|
| 月80時間以上<br>(1ヶ月でも超えた人数)    | 目 標 | 0      | 0      | 0      |
|                            | 実 績 | 25人中4名 | 23人中3名 | 27人中9名 |
| うち月100時間以上<br>(1ヶ月でも超えた人数) | 目 標 | 0      | 0      | 0      |
|                            | 実 績 | 0      | 0      | 27人中4名 |

**目標2** 仕事への充実感や、健康面での安心感の向上を図る

《結果》 未実施

### 2 次期プラン（本プラン）に向けた課題

その1：長時間勤務者の縮減が図れたが、新型コロナウイルス感染症対策で、教職員の働き改革について、明確かつ適正な取組ができていなかった。教職員の負担軽減や健康確保等の各種取組を今後も継続して推進していく必要があります。

その2：時間外在校時間の縮減に焦点が当たり、学校現場での教育の質と長時間縮減との間での難しさを考慮して目標設定について検討する必要があります。

その3：村教育委員会と小・中学校の両輪で取組を進めていく仕組みづくりの必要があります。プランの作成とその推進について明確にしてプランを作成していく必要があります。

## V 学校を取り巻く環境変化

### 1 時間外在校等の上限に関する条例・規則の施行

◇ 村教育委員会が、教員の時間外在校時間等を上限とする上限の範囲内とするため、その業務量の適切な管理を行う等の内容とする条例及び規則が令和2年8月1日に施行されました。

(村教育委員会でも、この規則は令和2年3月30日に施行・通知されています)

- ・ 1箇月について45時間
- ・ 1年について360時間
- ・ 例外は規則のとおり

### 2 新型コロナウイルス感染症への対応

- ◇ 新型コロナウイルス感染症の蔓延を受け、学校においても新しい生活様式が求められています。
- ◇ 対応として、部活動の制限や禁止、各種研修会・会議・行事等の中止、オンライン化等がありました。今後も新しい対応を迫られています。

### 3 GIGAスクール構想の実現に向けた対応

- ◇ GIGAスクール構想による児童生徒1人1台端末等の学校におけるICT環境の整備が進められており、多様な子どもたちに個別最適化され、その資質・能力が育成できる教育環境の実現が迫られています。

## VI プランの目標

### 1 教職員の時間外在校時間の縮減を目指す

- ① 時間外在校時間が月80時間以上の者を令和4年度から「ゼロ」にします。
- ② 時間外在校時間が月45時間超、年360時間超の者を令和4年度から「段階的に縮減」する。令和6年度は「ゼロ」を目指します(退勤時間を遅くとも19時00分を目指します)。

### 2 仕事への充実感や、健康面での安心感の向上を図る

- ① 授業や授業準備に集中できている、健康で生き生きと仕事ができている、仕事にやりがいを感じている等の肯定的実感が、高まることを目指します。
- ② これらの実感を把握するために、教職員へのアンケート調査を実施します。

## Ⅶ 取り組みの方向性

- 1 在校時間の把握と働き方の意識改革の推進を図ります。
- 2 学校を支える人的体制等の整備を整えます。
- 3 教職員業務の見直しと業務改善の推進を図ります。
- 4 部活動運営の質的改善を図ります。
- 5 ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた環境整備を整えます。

## Ⅷ 具体的な取り組み

### 1 在校時間の把握と働き方の意識改革の推進を図ります

| 項目                           | 具体的取組                         | 対 象 |     | プラン の 取組状況 |       |       | 課 題 |
|------------------------------|-------------------------------|-----|-----|------------|-------|-------|-----|
|                              |                               | 村教委 | 小・中 | 令和4年度      | 令和5年度 | 令和6年度 |     |
| (1) タイムレコーダーの導入、勤務実態の把握と意識改革 | ①教職員自らの働き方を振り返る機会の設定          |     | ○   |            |       |       |     |
|                              | ②労務管理上の適正な記録                  | ○   | ○   |            |       |       |     |
|                              | ③管理職による勤務状況の把握及び働きかけや指導等      |     | ○   |            |       |       |     |
| (2) 定時退勤時の設定や年次休暇取得の促進       | ①学校毎に月1回以上の定時退勤日を設ける          |     | ○   |            |       |       |     |
|                              | ②学校毎に最終退勤時刻の設定                |     | ○   |            |       |       |     |
|                              | ③教職員個々の年次取得率目標値の設定            |     | ○   |            |       |       |     |
|                              | ④7, 8月及び12, 1月を年次取得促進月間として設定  |     | ○   |            |       |       |     |
| (3) 学校閉庁日の設定                 | ①夏季休業及び冬季休業期間において土日を含む連続休暇の設定 | ○   | ○   |            |       |       |     |

## 2 学校を支える人的体制等の整備を整えます

| 項目                 | 具体的取組   | 対 象 |     | プラン の 取組状況 |       |       | 課 題 |
|--------------------|---|-----|-----|------------|-------|-------|-----|
|                    |   | 村教委 | 小・中 | 令和4年度      | 令和5年度 | 令和6年度 |     |
| (1) 村独自の人的配置の継続と活用 | ①特別支援・ALT・ICT・国際交流の推進員を配置<br>・特別教育支援員7<br>・ALT 1<br>・ICT支援員1<br>・国際交流推進員1 | ○   |     |            |       |       |     |
|                    | ②校長の経営方針に沿った人的活用の促進   |     | ○   |            |       |       |     |
| (2) 地域との連携による学校支援  | ③家庭、地域との分担や協働のさらなる推進  |     | ○   |            |       |       |     |
|                    | ①コミュニティ・スクールの推進   | ○   | ○   |            |       |       |     |
|                    | ②地域学校協働本部事業の推進・充実   | ○   | ○   |            |       |       |     |

## 3 教職員業務の見直しと業務改善の推進を図ります

| 項目                | 具体的取組                         | 対 象 |     | プラン の 取組状況 |       |       | 課 題 |
|-------------------|-------------------------------|-----|-----|------------|-------|-------|-----|
|                   |                               | 村教委 | 小・中 | 令和4年度      | 令和5年度 | 令和6年度 |     |
| (1) 勤務時間外の対応の軽減   | ①電話応答メッセージの設定                 | ○   | ○   |            |       |       |     |
| (2) 学校におけるICT化の推進 | ①統合型校務支援ソフトの導入                | ○   | ○   |            |       |       |     |
|                   | ②指導・学習用のタブレットの導入              |     | ○   |            |       |       |     |
|                   | ③その他、業務支援につながるICT機器に整備・検討     |     | ○   |            |       |       |     |
| (3) 村教育委員会業務等の改善  | ①各種会議や行事、研修等の見直しと精選・厳選        | ○   |     |            |       |       |     |
|                   | ②学校との電話連絡等を原則として16:45までとする    | ○   |     |            |       |       |     |
| (4) 各学校における取組の工夫  | ①学校の実情に応じた業務の見直しを行う           |     | ○   |            |       |       |     |
| (3) 学校閉庁日の設定      | ①夏季休業及び冬季休業期間において土日を含む連続休暇の設定 | ○   | ○   |            |       |       |     |



#### 4 部活動運営の質的改善を図ります

| 項目                | 具体的取組                            | 対 象 |     | プラン の 取組状況 |       |       | 課 題 |
|-------------------|----------------------------------|-----|-----|------------|-------|-------|-----|
|                   |                                  | 村教委 | 小・中 | 令和4年度      | 令和5年度 | 令和6年度 |     |
| (1) 適切な運営のための体制整備 | ①中学校での「部活動に係る活動の方針」の策定と公表        | ○   | ○   |            |       |       |     |
|                   | ②村独自の部活動指導員の導入。保護者会や指導員の協議・研修会実施 | ○   | ○   |            |       |       |     |
| (2) 適切な休養日等の設定    | ①中学校部活活動方針の理解・促進                 |     | ○   |            |       |       |     |

#### 5 ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた環境を整えます

| 項目                   | 具体的取組                    | 対 象 |     | プラン の 取組状況 |       |       | 課 題 |
|----------------------|--------------------------|-----|-----|------------|-------|-------|-----|
|                      |                          | 村教委 | 小・中 | 令和4年度      | 令和5年度 | 令和6年度 |     |
| (1) 保護者・地域等への理解促進    | ①小・中学校を通して周知及び理解、協力依頼    | ○   | ○   |            |       |       |     |
| (2) 労働安全衛生管理体制・相談の整備 | ①学校経営方針に「衛生推進者」の校務分掌への明記 |     | ○   |            |       |       |     |
|                      | ②ストレス・チェックとその後の相談体制の実施   | ○   | ○   |            |       |       |     |
|                      | ③校長による面接相談の実施            |     | ○   |            |       |       |     |

### IX プランに基づく取組の評価

#### 1 教職員の時間外在校時間の縮減を図れましたか

- ① 年度毎の取組の進捗状況や時間外在校時間等の適正な記録の蓄積と、目標達成への活用

#### 2 仕事への充実感や、健康面での安心感の向上を図られましたか

- ① 年度毎に教職員へのアンケート調査を実施による意識改革と達成意欲の喚起